

平成28年度 病虫害発生予察情報

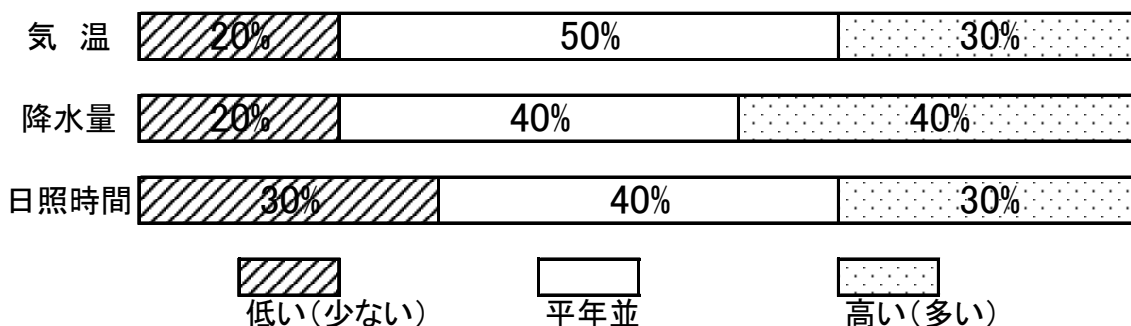
発生予報第8号（10月）

平成28年10月 7日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	平年並
野菜	キャベツ	黒腐病	やや多い
	アブラナ科野菜	菌核病	平年並～やや多い
		コナガ	やや多い
		ハスモンヨトウ	平年並～やや多い

中国地方1か月予報(10月8日～11月7日・広島地方気象10月6日発表)
 <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方

県内カキ栽培地帯

発生量

平年並

予報の根拠

①9月1半旬から9月6半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は178頭（平年215.9頭）と平年並みである。

②9月下旬の巡回調査での累積被害果率は5.4%（平年5.6%）と平年並みである。

③10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

やや多い

予報の根拠

①10月4日現在、巡回調査ほ場において発生ほ場率9.1%（平年発生ほ場率0.9%）でやや多い。

②ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生は平年並み～やや多いと予想されている。

③10月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①10月4日現在、巡回調査ほ場において発生ほ場率4.5%（平年発生ほ場率1.8%）で平年並みである。
- ②10月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや多い

予報の根拠

- ①現在のアブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の発生ほ場率は33.3%（平年19.9%）、寄生株率は5.8%（平年2.4%）でやや多い。
- ②10月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①フェロモントラップによる7月初めから現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で平年比138.8%、益田市で平年比160.7%と平年よりやや多い。
- ②現在のアブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生ほ場率は25%（平年30.8%）、寄生株率は4.2%（平年4.6%）で平年並みである。
- ③10月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

ホームページアドレス：

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/